

# 地域の宝―荒砥高校の更なる飛躍を！

県教育委員会では、「県立高校教育改革実施計画」を策定し、少子化という現状に対応するため、平成26年度までに高校の統廃合などが検討されています。わが町の最高学府（学校）である荒砥高校もその対象となっています。

町民のみならず、荒砥高校を支え（サポート）しましょう！

## 高校再編の考え（県）

「県立高校教育改革実施計画」によると、今後の高校再編は次のように行われます。

①平成17年度から26年度までに中学校卒業予定者が県全体で3千人減少することが予想されています。地域の実情や私立高校の収容バランスなどを考慮しながら学校の統合、学級減などに対応します。

②多様な教育課程の編成、部活動や学校行事などの活性化、集団の中で切磋琢磨する機会の提供など、高等学校としての教育機能の維持向上の観点から基本的には適正な学校規模の確保を図ります。

③近隣高校と合わせると適正

な学校規模となる場合、将来の統合を視野にキャンパス制（※1）を導入し、学校に準じた教育環境の確保を図ります。

この計画などを踏まえ、「西置賜地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会」で検討された結果、2つの案が県教育委員会に提出されました。

第①案  
「3校への再編」（そのうち1校にキャンパス制の導入を検討）

第②案  
「2校への再編」（キャンパス制の導入なし）

いずれの案でも、県内初となる総合学科、専門学科の産業高校設置が盛り込まれています。

○再編対象高校（4校）  
・荒砥高校・長井高校・長井工業高校・小国高校

※1キャンパス制：複数の高校間で連携・交流し、生徒の学習や特別活動などに関する教育環境に同じ教員が出張授業を行ったり、合同で部活動などを実施すること。

この場合、荒砥高校の校名・校舎はそのまま存続される。

## 荒砥高校の沿革

（これまでの移り変わり）

昭和

23年4月1日

県立荒砥高等学校（定時制の課程）設立認可。元荒砥農芸学校を校舎とする。

23年5月7日

開校式挙行（普通科・農業科・被服科に第1学年入学、蚕桑・鮎貝・東根分校も同時開校）

23年7月14日

PTA結成

27年3月15日

同窓会結成

27年3月31日

鮎貝・東根分校閉鎖

28年4月7日

通常課程1学級併置認可

29年3月31日

蚕桑分校閉鎖

30年4月1日

通常課程定員増加認可（80人）

30年6月1日

校歌制定

31年3月31日

農業実習室竣工